

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第3区分
【発行日】平成17年8月4日(2005.8.4)

【公開番号】特開2003-206322(P2003-206322A)
【公開日】平成15年7月22日(2003.7.22)
【出願番号】特願2002-6267(P2002-6267)
【国際特許分類第7版】
C 0 8 F 220/12
G 0 3 F 7/033
【F I】
C 0 8 F 220/12
G 0 3 F 7/033

【手続補正書】
【提出日】平成17年1月12日(2005.1.12)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

酸基含有ビニル系単量体及びアクリル酸エステル単量体を構成成分とする共重合体であって、該共重合体中に残存する重合開始剤の含有量が20ppm以下であり、かつ残存するアクリル酸エステルの含有量が1000ppm以下であるアルカリ可溶型ビニル系重合体。

【請求項2】
反応系内のゲージ圧力を0.1MPa以上とすることによって得られる、請求項1記載のアルカリ可溶型ビニル系重合体。

【請求項3】
10時間半減期温度が60～120の有機過氧化物系開始剤を使用することによって得られる、請求項1又は2記載のアルカリ可溶型ビニル系重合体。

【手続補正2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0006
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0006】

すなわち、本発明は、酸基含有ビニル系単量体及びアクリル酸エステル単量体を構成成分とする共重合体であって、該共重合体中に残存する重合開始剤の含有量が20ppm以下であり、かつ残存するアクリル酸エステルの含有量が1000ppm以下であるアルカリ可溶型ビニル系重合体に関するものである。